

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公表番号】特表2007-529314(P2007-529314A)

【公表日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2007-041

【出願番号】特願2007-504282(P2007-504282)

【国際特許分類】

B 0 1 D 35/02 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 35/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月29日(2008.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィルタ装置であって、

フィルタ筐体(11)に保持することができ、接続システム(9)によって流体手段に流体接続部(5、7)を経由して流体を運ぶために接続することができ、締結手段(17、19)によって前記流体手段に取外し可能に固定することができる、少なくとも一つのフィルタ要素(13)を具備するフィルタ装置において、

前記締結手段が、前記フィルタ筐体(11)を回転することによって固定し、外すことが可能なパヨネット式留め金(17、19)であることと、

前記接続システム(9)が、遮断の位置においてそれぞれの割当てられた流体接続部(5、7)を遮断し、開の位置に移動した後にそれを外す、少なくとも一つの移動可能な遮断要素(33)を備えることと、

前記遮断要素(33)が、前記パヨネット式留め金(17、19)を外し、固定するために行われる前記フィルタ筐体(11)の回転運動によって、前記遮断の位置又は開の位置に移動することが出来ることと、

を特徴とする、フィルタ装置。

【請求項 2】

前記遮断要素が、前記流体手段で軸回転する回転ディスク弁(33)である、請求項 1 に記載のフィルタ装置。

【請求項 3】

前記回転ディスク弁(33)が、前記接続システムの一部として前記フィルタ筐体(11)の内部に延伸する、少なくとも一つの接続スリーブ(37、39)を有し、動力伝導部として前記回転ディスク弁(33)に伝達される回転運動を有する、請求項 2 に記載のフィルタ装置。

【請求項 4】

前記フィルタ筐体(11)が、汚れ側に流体を供給するための入口開口部(41)と前記フィルタ筐体(11)から濾過された流体を流出するための出口開口部(43)とを有し、前記フィルタ筐体の各々の開口部のための前記回転ディスク弁(33)が、前記割当てられた開口部を貫通する一つの接続スリーブ(37、39)を有する、請求項 3 に記載のフィルタ装置。

【請求項 5】

前記入口開口部（４１）と前記出口開口部（４３）とで、前記フィルタ筐体（１１）が、前記閉の位置で前記フィルタ筐体（１１）から流体出口を遮断し、閉じるバネ（５５、５７）によって閉じる位置になるように予め引張られている、各々一つの弁（５１、５３）を有し、前記回転ディスク弁（３３）の各々の接続スリーブ（３７、３９）が、端部側面に前記フィルタ筐体（１１）の内部の軸方向に突出していて、前記フィルタ筐体（１１）が、前記流体手段に取付けられ、閉じる力に抗して前記閉の位置から前記開の位置へ制御ラグ（４７）を押し進める場合に、前記割当てられた弁（５１、５３）の前記遮断体（４９）と直接接触する、少なくとも一つの制御ラグ（４７）を有する、請求項４に記載のフィルタ装置。

【請求項 6】

大方の部分が円筒形状である前記フィルタ筐体（１１）が、前記流体手段に接続される端部で、入口開口部（４１）と出口開口部（４３）とを有する底の部分（４５）によって閉じられ、反対側の端部で、蓋の部分（２３）によって密閉されていて、

前記底の部分（４５）を取り囲む前記筐体（１１）の周縁端面に、前記バヨネット式留め金の構成要素として、互いに正反対に位置する半径方向に突出したバヨネットリブ（１９）があり、さらなる構成要素として、前記流体手段の接続プレート（９）に取付けられ、前記接続プレート（９）で軸回転する前記回転ディスク弁（３３）を取り囲むバヨネットリング（１７）を有し、それによって前記接続プレート（９）に形成される前記流体接続部（５と７）が、固定され外される、請求項５に記載のフィルタ装置。

【請求項 7】

前記接続プレート（９）が、油圧タンク（１）の中に設置されるタンクの仕切り部（３）の底部に形成され、前記フィルタ筐体（１１）が、前記底部と、前記タンクの仕切り部（３）にアクセスが可能であるタンクの蓋（１５）との間で保持することができる、請求項６に記載のフィルタ装置。

【請求項 8】

前記フィルタ筐体（１１）の蓋の部分（２３）が、前記バヨネット式留め金（１７、１９）を作動する回転運動を行うために、軸方向に突出す取っ手（２５）を有していて、タンクの開く位置とタンクの閉じる位置との間で動くことが可能な前記タンクの蓋（１５）が、前記バヨネット式留め金（１７、１９）の固定位置に一致する前記フィルタ筐体（１１）の唯一の回転位置のために、前記タンクの閉じる位置で前記取っ手（２５）を掴むことが出来るようにする凹部（２７）を有する、請求項７に記載のフィルタ装置。